

その他の災害—地震について

東海・東南海地震について

東海から南海道にかけての海域では、100年から150年周期で、プレートの潜り込みによる地震がくり返し起こっています。

ところが、東海地震の震源となる駿河湾から御前崎沖では、1854年の安政東海地震の後、約150年にわたって大地震がないのです。このため地震のエネルギーが蓄積され、プレートの歪みが限界に達しているといわれています。

近い将来、東海地方に大きな地震が起こるといふ根拠は、ここにあるのです。



わが家の安全点検

家族の命を守るために、
ご自宅の耐震性を確保しましょう

- ・市町村の実施する、木造住宅の無料耐震診断
- ・家具類の固定
- ・ガラス飛散防止フィルムの貼り付け など



地震発生後の行動の目安

最初の大きな揺れは1分間

自分の身を守る

転倒のおそれのある家具から離れ、机等の下に身を隠す。あわてて外に飛び出さない。

揺れがおさまったら

出火防止・脱出口確保

ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーをおとす。火が出たら落ち着いて初期消火。ドア・窓を開けて脱出口を確保する。

地震発生から3日目まで

家族の安全確認、余震に注意

倒壊しかけた家屋に近寄らない。隣近所に声をかけ、状況により徒歩で避難する。

隣近所で消火・救出・救護

隣近所で協力し、消火やケガ人の救出救護にあたる。

自力でしのぐ

備蓄しておいた飲料水、食料等を利用する。デマに注意し、正しい情報をつかむ。

地震発生から4日目以降

生活の維持と回復

余震に注意し、情報の収集にあたる。復旧に向け努力する。

防災用具チェックリスト

食料関係

- 水(1人1日3リットルが目安)
- 乾パンやクラッカー、缶詰
- ナイフ、缶切り
- レトルト食品
- 鍋、水筒
- 卓上コンロ
- 粉ミルク、ほ乳びん(赤ちゃんのいる場合)

貴重品

- 印鑑
- 現金(小銭も)
- 預金通帳や有価証券などの権利証書
- 連絡カードや身分を証明するもの

衣類関係

- 衣類、下着
- 寝袋
- 雨具
- タオル、毛布

安全対策

- 救急医療品
- 常備薬の予備
- ヘルメット、防災頭巾、帽子
- 底の厚い靴
- 軍手
- 防塵マスク

日用品

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 予備の電池
- マッチ、ライター
- ロープ
- 包装用ラップ
- ティッシュペーパー、生理用品
- 使い捨てカイロ
- 筆記用具
- ビニール袋(ゴミ袋)

※赤字は非常持ち出し品